

農村RMO  
推進フォーラム

住んでみたい・住み続けられる農山漁村づくり

高齢化が進む中山間地域等においては、住民が地域内外とつながる拠点を創出し、集落到賑わいと呼び戻す取組や人々が安心して住み続けるための支援の取組が重要です。そのため、本フォーラムでは、継続的な取組や付加価値により効果をあげている取組団体による事例発表等により、農村RMO形成に向けた意識の醸成を促します。

## 場所

TKP ガーデンシティ  
PREMIUM 仙台西口 5階  
ホール 5B  
宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15  
ソララプラザ 5階



## 日時

令和8年 2月10日(火)

開会 13:15 ～ 閉会 16:30

(先着順)

## 定員

会場50名 / オンライン500名

開催  
形式

農業者を母体とした組織（多面的機能支払の活動組織、中山間地域等直接支払の集落協定、集落営農、土地改良区など） 地域における多様な活動組織（自治会、社会福祉協議会、地域おこし協力隊、その他農村RMOに興味・関心のある者） 行政関係者等（県・市町の農業・福祉・社会教育・地域づくり等の担当者、JA）

対面及びオンライン同時開催  
(ハイブリッド開催)

※オンラインはZoomまたはYouTubeで視聴可能

## 開催テーマ

「地域課題に対応した持続可能な村づくり」

	内容	詳細
13:15～13:20	開催の挨拶	東北農政局
13:20～14:10	基調講演	いわて地域づくり支援センター 専務理事 若菜 千穂 氏 演題『農村RMOの入口と出口 ～生き残る地域の地域づくり～』
14:10～15:10	事例発表	事例①：横岡・舟岡地区 麓のカラコ協議会（秋田県にかほ市） 『地域の現状、農村RMOモデル形成支援事業を活用した成果、事業後の展望』 事例②：細野地区 清流と山菜の里ほその村（山形県尾花沢市） 『耕作放棄地とならないための工夫とそこでの生産物を利用した農家レストランへの展開』
15:10～15:20		休憩
15:20～16:10	特別講演	岩手大学 名誉教授 青井 俊樹 氏 演題『ツキノワグマの生態と被害防除ーある集落ぐるみの取り組みー』
16:10～16:20	全国情勢報告	農林水産政策研究所 次長 八百屋 市男 氏
16:20～16:30	農村RMO形成 推進に係る施策紹介	東北農政局
16:30	閉会	

## 基調講演

### 『農村RMOの入口と出口 ～生き残る地域の地域づくり～』



いわて地域づくり支援センター 常務理事

若菜 千穂 氏



岩手大学連合農学研究科博士課程修了。北海道で民間コンサルティングとして働いた後、平成17年より現職。主に農山村地域において住民主体の地域づくりや地域運営組織形成を支援するほか、住民主体の地域交通づくりも行う。専門は、農村計画、農村交通計画。

## 特別講演

### 『ツキノワグマの生態と被害防除 ―ある集落ぐるみの取り組み―』



岩手大学 名誉教授

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー（農林水産省）

青井 俊樹 氏



学生サークルの北大ヒグマ研究会でクマの魅力に取りつかれ、卒業後の北大演習林勤務中はヒグマの生態を、平成12年岩手大学農学部に移籍後はツキノワグマの生態と、住民とクマとの共生に関する研究に従事。大学退官後、東北各地においてシカ、クマなどによる被害防除活動を地域住民と共に実施、現在も継続中。

## 事例発表①



麓のカラコ協議会 副会長

中山 功大 氏



2021年から地域おこし協力隊として秋田県にかほ市へ移住。株式会社Ventosを設立し、築100年古民家を改修しゲストハウス麓□（ろくます）を開業。2023年から農村RMOモデル形成支援の事務局を担い、スマート農業の推進、地域農業を支える仕組みづくり、地域資源を活かした持続可能な暮らしづくりなどに挑戦中。

## 事例発表②



清流と山菜の里ほその村 会長

五十嵐 幸一 氏



農家レストラン「蔵」を地域のお母さんグループと運営。山菜や手打ち蕎麦を提供し、観光ワラビ園やメープルサップ採取体験、そばオーナー制などを企画。都市住民との交流と地域活性化に取り組む。令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業（東北ブロック）において農林水産大臣賞を受賞。

## 全国情勢報告



農林水産政策研究所 次長

八百屋 市男 氏



内閣府沖縄振興局参事官、東海農政局消費・安全部長、大臣官房付兼内閣官房参事官、東北農政局地方参事官、大臣官房広報評価課長を経て、2025年4月より現職。

参加申込

## 予約サイトからお申込みください

<https://japan-gastrotourism-and-trade.com/nouson-rmo/seminar/touhoku/>

お申込締切 ▶▶▶ 2026年 2月6日(金)

スマートフォンで二次元コードを読み取り、または左記URLより必要事項を入力してください。

※定員に達し次第締切



主催

東北農政局  
株式会社JTB

お問合せ

農村RMOフォーラム事務局(株式会社JTB内) 担当：渡辺、竹内（秀）、吉野、秋元  
☎ 03-6737-9261 ✉ [nouson-rmo@jtb.com](mailto:nouson-rmo@jtb.com)